

消費税法案の採決にあたって

お世話になっております。お一人お一人の皆様へ

いつもありがとうございます。消費税法を巡ってついには党は分裂。今も離党者が続出するなど、緊迫した状態が続いています。痛恨の極みです。本当に申し訳なく思います。

私自身、本会議場で一人野田総理に詰め寄り、定数削減や、行革への覚悟を確認した上で、震える手で白票(賛成)を握りました。経過の不幸、納得感のなさ、様々な思いを抱えていま、最後は、今、この国に消費増税が必要か。その政策判断一点に絞り、この歴史的採決に臨みました。多くの皆様、怒り、不満のお声をいただいております。その一つひとつを全身全霊をもって受け止め、お預りさせていただきます。

それにしても、一体、民主黨とは何だったのか?... 政権交代とは何のためだったのか?... として私たち若い世代の責任と存在意義はどこにあったのか?... そんなことが根底から揺らぎ、問われています。最後の局面を迎えている。そんな切羽詰まった、思い詰めた心境です。身体も悪くなりました。しかし、今一度、最後、力を振り絞って、政権交代の立役者であった国民・県民の皆様、有権者お一人ひとりの皆様と真摯に向き合わせて頂きたい、そんな願うような気持ちでおります。

2012年7月 衆議院議員 小川 淳也 拝

是非、皆様のご意見をお寄せください。

FAX 送付先

衆議院議員
小川淳也事務所

087-815-1189

ご意見記入欄

※差し支えがなければご記入ください。

お名前

TEL

FAX

ご住所

e-mail